



おしばいみたいに よんでみよう。

——3にん、レストランへ はいって、せきに すわった ところ——

- ウエイトレス 「いらっしゃいませ。」とメニューをさしだして、  
「おきまりになったら こえを かけてください。」
- おかあさん 「はい。」
- 「なににしようか。」と、みんなでメニューをみる。
- おとうと 「ぼくは、カレーにする。」
- おかあさん 「おかあさんもカレーがいいな。でも、どのカレーにする?」
- おねえちゃん 「うーん。この ゲキカラって、よっぽど からのかなあ。」
- おかあさん 「きいてみたら。」
- おねえちゃん 「うん。きいてみよう。」と、ウエイトレスにてであいずする。
- ウエイトレス 「おきまりですか。」
- おねえちゃん 「あの、この ゲキカラって、どのぐらい からいんですか。」
- ウエイトレス 「けっこう、からいですよ。」
- おねえちゃん おとうとに「たべてみようか。」という。
- おとうと 「ぼくは やめとく。アマカラがいい。」
- おねえちゃん 「わたしは たべてみよう。きめた。ゲキカラの カレー。」
- おかあさん 「やめときなさい。おかあさんは チュウカラにします。」
- おねえちゃん 「たべてみたいよ。からの すきなもの。」
- おかあさん 「だったら、チュウカラにしたら。」
- おねえちゃん 「ゲキカラがいい。」
- おかあさん 「だめ。こどもが そんな からの もの いけません。」
- おねえちゃん 「……」